

株式会社ピーシーデポコーポレーション  
PC DEPOT CORPORATION

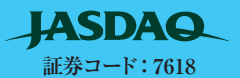
〒222-0033  
神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目3番19号  
<http://www.pcdepot.co.jp>  
[ir@pcdepot.co.jp](mailto:ir@pcdepot.co.jp)



株主の皆さまへ  
第13期決算報告  
(2006年4月1日~2007年3月31日)



株式会社ピーシーデポコーポレーション



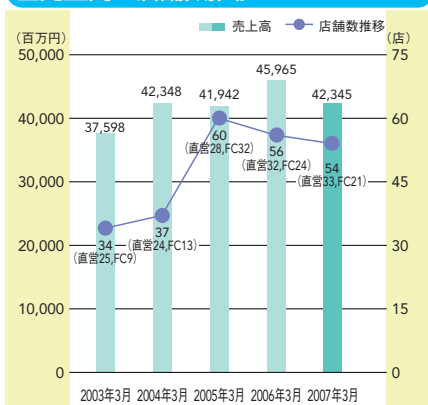


第13期連結売上高

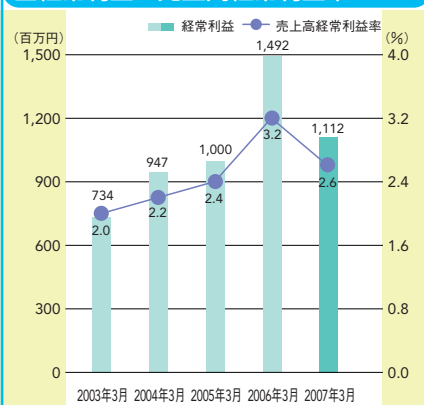
42,345 百万円

連結経常利益 1,112 百万円  
連結当期純利益 510 百万円

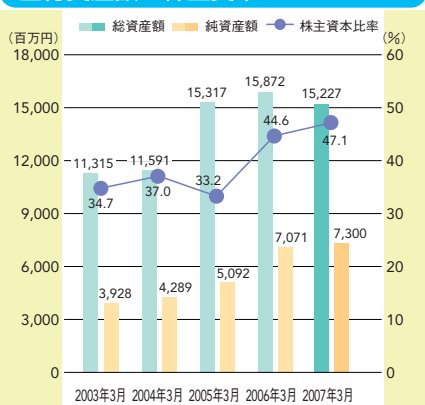
売上高・店舗数推移



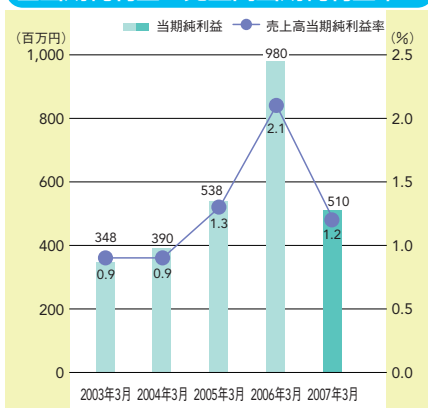
経常利益・売上高経常利益率



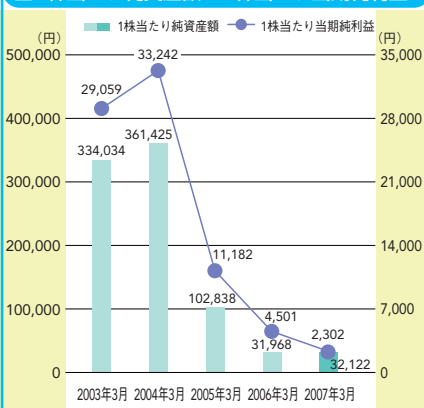
総資産額・株主資本



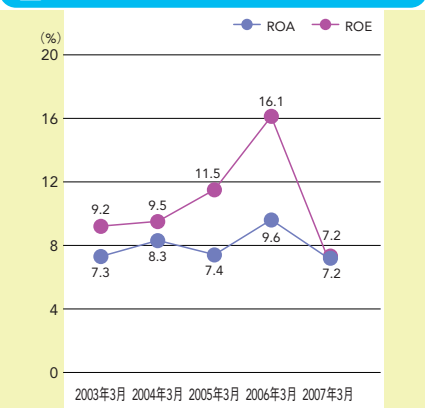
当期純利益・売上高当期純利益率



1株当たり純資産額・1株当たり当期純利益



ROA・ROE



パソコン、インターネット、データの安全性向上に努めます！



株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

第13期（2006年4月1日～2007年3月31日）の営業の概況につきましてご報告致します。

連結売上高は、前年比7.9%減の42,345百万円でした。主な要因は、新店が計画3店舗に対し、上期1店舗のみの開店と未達だったことです。更に上期のパソコン販売減少分を取り戻せなかったことに加え、2007年1月末の新OS「Windows Vista」発売に伴い年末商戦期にパソコンの買い控えが発生したことも、売上高の減少に大きな影響がありました。

利益面におきましては上記に加え、連結子会社(株)イージェーワークスにおいて上期に発生した基幹システムの移行遅延による経費増が下期にも影響したため、経常利益は前年比25.5%減、1,112百万円となりました。当期純利益は第12期に連結子会社であった株式会社インターネットサービスパートナーズの株式売却により特別利益を計上したこともあり、前年比48%減の510百万円と減収減益でした。

パソコンの世帯普及率が80%を超え、パソコンのマーケットは新規需要から買い増し・買い替え需要へと変化をしております。しかしながらお客様がパソコンを使用する上での不便さを解消する店舗は現在、存在しておりません。

当社は単なる物売りの小売業から小売とサービスの融合を進めるべくサービスの強化を進めて参ります。

店舗政策におきましては昨年度、出店が大幅に遅延致しましたが、下期に店舗開発部の体制を強化しました。今期は新店5店舗の出店を予定しております。又、同時に今期より大型店化を進めて参ります。引き続き、地域のお客様に「安い・安心・便利そして親切」と感じていただけるよう取り組んで参ります。

管理面におきましては、2006年6月に東名川崎店における個人情報の流出、8月には元社員によるインサイダー取引と2回にわたる不祥事を発生させ、株主の皆様にはご心配をおかけしましたことを、改めてお詫び申し上げます。再発防止にむけ管理体制の強化を実施しております。また本年度中には内部統制適合完了を目標に準備を開始しております。強固な管理体制を構築し、株主様に安心していただけるよう全力を尽くします。

株主の皆様におかれましては今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。

2007年6月

代表取締役社長 野島 隆久



## 事業活動トピックス

薄型大画面テレビ本格参入、  
業界最安値更新！



7月より、プラズマテレビ・液晶テレビ「OZZIO StyleVisionシリーズ」の発売を開始しました。HDMI端子、D4端子を搭載し、外部チューナーやケーブルテレビ等に接続することで地上デジタル放送のハイビジョン番組もお楽しみいただけます。また、パソコン接続端子も装備しており、パソコン画面表示可能な1台2役のハイビジョン対応の薄型テレビです。

全店舗に各メーカー不具合  
情報掲示板を設置



SONY社製のパソコンバッテリー不具合によるリコール報道を受け、自分のパソコンが大丈夫かと不安に感じているお客様のお手伝いの一環として、各メーカー様の取り組み状況を店頭掲示板にてお知らせしております。同時に、対象機種かどうか店頭にて無料で点検するサービスも実施しております。

電子マネー決済を整備



PCDEPOT全店で、「Edy」・「iD」の2種類の電子マネーをご利用できるようになりました。対応ICカードはもちろん、おサイフケータイでもお買い物いただけます。

今期、2店舗出店しました



三鷹店



西京店

6月に三鷹店（東京都三鷹市：直営）、9月に西京店（京都市西京区：西菱電機（株）運営）をOPENしました。

「困ったな、不安だな」と思わせ  
せない、PCDEPOTだけの  
サービスです



月額会員制の保守サービス「プレミアムサービス」の販売を本格的に開始しました。「使い方のお手伝い」・「ウイルス感染やデータの流出予防」・「大切な写真や音楽などデータの自動バックアップ」・「万一の時の復旧」など、会員のお客様のパソコンライフをいつでも店頭・訪問にてトータルサポートいたします。

今期起きました不祥事のお詫び

6月に東名川崎店における個人情報流出、8月には元社員によるインサイダー取引と2回にわたる不祥事を発生させ、株主の皆様には多大なご迷惑とご心配をお掛けいたしました。この事態を受け、コンプライアンス委員会の設置、内部統制専任部署の設置をしました。更なる管理体制の強化に取り組み、全力で信頼を回復して参ります。



## 2006年度の結果報告と2007年度の見通し

### 2006年度ハイライト

「出店の大幅遅れ」、「子会社の業績悪化」  
主にこの2つの要因により減収減益となりました。

連結業績	1. 売上高・経常利益、減収減益	売上高42,345百万円（前年比92.1%） 経常利益1,112百万円（前年比74.5%）
	2. 保有株式の売却	一有価証券を売却により約93百万円の特別損失を計上
	3. 子会社業績悪化	—ejw 昨年度487百万円→206百万円（前年比42.4%）により2006年度連結の経常利益を下方修正
PCDEPOT	4. 出店の大幅遅れ	—直営32店舗→期末35店舗の計画が純増1店舗開店のみ —F C 21店舗→期末28店舗の計画は未達
	5. Windows Vistaの発売	—2007年1月30日に新OS発売により第3Qに買い控えが発生 発売後、マーケットはプラスに転じるものの、すぐに横ばいに
	6. オリジナル商品（OZZIO） 薄型大画面テレビ本格参入	—薄型大画面テレビ、本年度5モデル発売いずれも業界最安値更新 オリジナルブランド名：「OZZIO StyleVision」
	7. 保守サービス商品の本格販売開始	—ウイルス対策など安心してPCをお使いいただける環境を提供 —2006年度末会員43,000人
子会社	8. 個人情報漏洩、 元社員によるインサイダー取引	—2回の不祥事が発生。その後、コンプライアンス委員会を設置し、 内部統制専任部署を設置
	9. ejw 「infoPepper」事業継承	—東芝情報システム㈱よりインターネットサービスプロバイダー 「infoPepper」の営業を譲受け、会員約16,000人。
	10. ejw 基幹システムの入替大幅遅延	—様々なISPを運営し、その規模拡大・効率アップのため基幹システムを構築したが、その移行が1年遅延。結果、新規事業継承の遅れとコスト増をまねく。

### 2008年度計画

【連結】

売上高 **440** 億円（前年423億円）

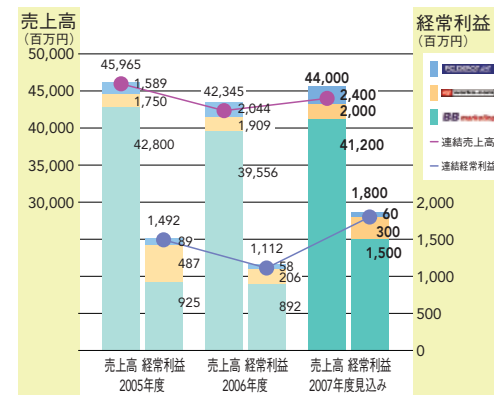
経常利益 **18** 億円（前年11億円）

### 2007年度トピックス

以下を実行することにより、「過去最高益」を目指します！

店舗方針	1. 下期出店強化、同時に大型化	—下期中心に4～5店舗を出店。平均500坪。
	2. 家電量販店との接近戦	—家電量販店の競合エリアに出店。
	3. CLIP安定稼働	—今期末「30店」の目標をおきながらも、安定稼働を優先する。
営業方針	4. 販売促進の変更	—夏頃、T VCMを開始（関東圏）。
	5. サービスメニューの強化による 新たなお客様の獲得	—ご年配層や他店購入品の持ち込み修理のお客様を獲得。
	6. 保守サービス型商品の会員獲得 並びに商品開発	—サポートメニューの強化により単価と顧客満足の向上。
	7. 品揃え強化（大型店化）	—新規出店の大型店は約1.5倍の品数数を実現する。既存店も 1.2倍の品数数に拡大。
その他	8. 商品開発	—「OZZIO StyleVision」夏頃、全ラインナップ一新！
	9. 内部統制に対する取り組み	—2007年度中に内部統制適合の目標。 営業監査システムを見直し、現在施行中。
	10. ejw 業績回復	—基幹システムの安定化。システム移行、上期中に完了。

### 業績推移と見込み







## 出店計画

### 期中、5店舗出店を目指します

2007年度下期にかけて5店舗出店を計画しています。近年の店舗大型化を受け、今後の新規店舗は平均500坪の売り場面積と、大型駐車場の併設を揃えます。また、家電量販店のPC売り場は縮小傾向にあるため、家電量販店の近くに出店する「接近戦」で店舗運営を進めます。



松戸店



三島店

## パソコンクリニック

### パソコン・インターネット・データの安全性向上に取り組んでいきます

パソコンの点検・修理はもちろん、買い替え・買い増し時のメンテナンスや技術サービスのニーズに対応するべく「パソコンクリニック」のスペース拡大、サービスメニューの開発、技術者のレベルアップを更に進めて参ります。

また、PCDEPOT店頭だけでなく、家電量販店の大型店内にインショップ出店（CLIP事業）をすることで、より多くのお客様へ「パソコンクリニック」のサービス提供を進めています。



## 保守サービス型商品

### 安全&手間いらず、万がーでも安心なサービスの商品開発強化

お客様が継続的にパソコンを利用する上で必要なくつものサービスをトータル的に提供することにより、利便性向上、手軽に技術サポートを受けることが出来る気軽さ、万一の故障や不具合も保証により確保される安全性、自動更新によるメンテナンスの簡単さを兼ね備えたトータルサポートプログラムを開発、販売開始に至りました。今後も、皆様にパソコンを安心して使っていただけるよう、新サービスの開発を進めていきます。



**安全24プレミアムパック**

**安全 365日**  
フリーメンテナンス

- ウイルス感染防止
- データ流出防止
- 危険回避 & 復旧

**24時間 安心サポート**

- 電話サポート
- リモコンサポート
- 店舗 訪問ポイントアドバイザー

## 大型店化に備える

### 品揃えの強化とオリジナル商品の拡大

「初心者」の方から「上級者」の方のニーズにあった、パソコンからその関連商品の開発を常に追求して参ります。更には「地域No.1の品揃え」を目標に、新店と既存店の品揃えを増やして大型店化への移行を図ります。

OZZIO StyleVisionシリーズ

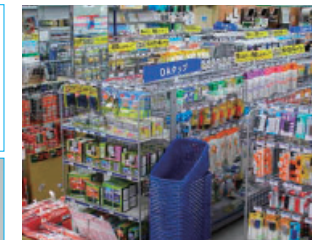


OZZIO XR

OZZIO musica Tube



OZZIO MX





# 財務諸表

## ■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別 前期 (2006年3月31日現在)	当期 (2007年3月31日現在)	増減金額
<b>(資産の部)</b>			
<b>I. 流動資産</b>			
現金及び預金	2,494	1,771	△723
売掛金	1,778	1,750	△28
たな卸資産	3,967	4,835	868
未収入金	1,153	1,054	△99
その他	438	515	77
<b>流動資産合計</b>	<b>9,830</b>	<b>9,925</b>	<b>95</b>
<b>II. 固定資産</b>			
<b>1. 有形固定資産</b>			
建物及び構築物	998	1,052	54
工具器具及び備品	432	367	△65
その他	152	104	△48
<b>有形固定資産合計</b>	<b>1,584</b>	<b>1,524</b>	<b>△60</b>
<b>2. 無形固定資産</b>	<b>487</b>	<b>615</b>	<b>128</b>
<b>3. 投資その他の資産</b>			
投資有価証券	1,936	1,012	△924
繰延税金資産	15	85	70
差入保証金	974	996	22
敷金	912	967	55
その他	132	101	△31
<b>投資その他の資産の合計</b>	<b>3,969</b>	<b>3,161</b>	<b>△808</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>6,041</b>	<b>5,301</b>	<b>△740</b>
<b>資産合計</b>	<b>15,872</b>	<b>15,227</b>	<b>△645</b>

**資産合計**  
**15,227百万円**

現金が約700百万円減少、また保有株式を一部売却したことにより645百万円減少しました。

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科目	期別 前期 (2006年3月31日現在)	当期 (2007年3月31日現在)	増減金額
<b>(負債の部)</b>			
<b>I. 流動負債</b>			
買掛金	3,191	3,460	269
短期借入金	50	50	0
1年以内返済長期借入金	812	473	△339
未払金	2,089	1,834	△255
その他	1,176	816	△360
<b>流動負債合計</b>	<b>7,319</b>	<b>6,635</b>	<b>△684</b>
<b>II. 固定負債</b>			
長期借入金	491	467	△24
預り保証金	692	682	△10
その他	182	142	△40
<b>固定負債合計</b>	<b>1,366</b>	<b>1,291</b>	<b>△75</b>
<b>負債合計</b>	<b>8,686</b>	<b>7,926</b>	<b>△760</b>
少数株主持分	114	—	△114
<b>(資本の部)</b>			
<b>I. 資本金</b>	<b>1,591</b>	<b>—</b>	<b>△1,591</b>
<b>II. 資本剰余金</b>	<b>1,878</b>	<b>—</b>	<b>△1,878</b>
<b>III. 利益剰余金</b>	<b>3,379</b>	<b>—</b>	<b>△3,379</b>
<b>IV. その他</b>	<b>290</b>	<b>—</b>	<b>△290</b>
<b>V. 自己株式</b>	<b>△68</b>	<b>—</b>	<b>68</b>
<b>資本合計</b>	<b>7,071</b>	<b>—</b>	<b>△7,071</b>
<b>負債・少数株主持分及び資本合計</b>	<b>15,872</b>	<b>—</b>	<b>△15,872</b>
<b>(純資産の部)</b>			
<b>I. 株主資本</b>			
資本金	—	1,601	1,601
資本剰余金	—	1,888	1,888
利益剰余金	—	3,724	3,724
自己株式	—	△68	△68
<b>株主資本合計</b>	<b>—</b>	<b>7,145</b>	<b>7,145</b>
<b>II. 評価・換算差額等</b>			
その他有価証券評価差額金	—	26	26
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>—</b>	<b>26</b>	<b>26</b>
<b>III. 少数株主持分</b>	<b>—</b>	<b>128</b>	<b>128</b>
<b>純資産合計</b>	<b>—</b>	<b>7,300</b>	<b>7,300</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>—</b>	<b>15,227</b>	<b>15,227</b>

**負債合計**  
**7,926百万円**

借入金等の返済や未払い法人税等の減少により760百万円減少しました。

**純資産合計**  
**7,300百万円**

利益剰余金が345百万円増加しました。



# 財務諸表

## ■ 連結損益計算書

(単位：百万円、%)

**売上高**  
**42,345百万円**  
既存店が前年比87.3%でした。パソコンの単価が引き続き下落したことに加え「Windows Vista」発売に伴う買い控えも影響し3,620百万円減少しました。

**経常利益**  
**1,112百万円**  
新規出店による費用増加ならびに子会社の基幹システム移行の大幅遅延などにより380百万円減少しました。

科目	期別	前期		当期		増減	
		自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日	金額 構成比	自 2006年4月 1日 至 2007年3月31日	金額 構成比	金額	増減比
売上高		45,965	100.0	42,345	100.0	△3,620	-
売上原価		36,894	80.3	33,264	78.6	△3,630	△1.7
売上総利益		9,070	19.7	9,080	21.4	10	1.7
販売費及び一般管理費		7,859	17.1	8,241	19.4	382	2.3
営業利益		1,210	2.6	839	2.0	△371	△0.6
営業外収益		393	0.9	357	0.8	△36	△0.1
営業外費用		111	0.2	84	0.2	△27	0.0
経常利益		1,492	3.2	1,112	2.6	△380	△0.6
特別利益		592	1.3	101	0.2	△491	△1.1
特別損失		293	0.6	136	0.3	△157	△0.3
税金等調整前当期純利益		1,791	3.9	1,077	2.5	△714	△1.4
法人税等・少数株主損益		810	1.8	566	1.3	△244	△0.5
当期純利益		980	2.1	510	1.2	△470	△0.9

## ■ 商品別売上高

(単位：百万円、%)

**パソコン本体**  
金額・台数が前年を下回る中、「Windows Vista」の発売に伴う買い控えの影響を受け、発売後はプラスに転じるものすく横ばいとなり通期では大幅にダウンしました。

科目	前期		当期		増減	
	自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日	金額 構成比	自 2006年4月 1日 至 2007年3月31日	金額 構成比	金額	増減比
パソコン本体	13,393	29.2	10,709	25.3	△2,684	△3.9
モニター	1,162	2.5	924	2.2	△238	△0.3
プリンタ	1,802	3.9	1,423	3.3	△379	△0.6
周辺機器	9,116	19.8	9,116	21.5	0	1.7
アクセサリ・サブライ	4,512	9.8	4,449	10.5	△63	0.7
ソフト	1,918	4.2	1,893	4.5	△25	0.3
OA機器・中古品・その他	6,774	14.7	6,647	15.7	△127	1.0
商品売上高計	38,679	84.1	35,165	83.0	△3,514	△1.1
ロイヤリティ他収入	489	1.0	533	1.3	44	0.3
技術サービス・手数料収入	2,854	6.3	3,062	7.2	208	0.9
パソコン等販売事業計	42,024	91.4	38,761	91.5	△3,263	0.1
インターネット関連事業	3,940	8.6	3,583	8.5	△357	△0.1
合計	45,965	100.0	42,345	100.0	△3,620	-

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨て、比率は小数点第二位を四捨五入して表示しております。

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前期	当期	増減金額
		自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日	自 2006年4月 1日 至 2007年3月31日	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		1,966	△95	△2,061
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		△620	△139	481
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		△182	△511	△329
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		△4	23	27
V 現金及び現金同等物の増減額		1,158	△723	△1,881
VI 現金及び現金同等物の期首残高		1,335	2,494	1,158
VII 現金及び現金同等物の期末残高		2,494	1,771	△723

**営業活動によるキャッシュ・フロー**  
**△95百万円**  
法人税等の支払や棚卸資産の増加により95百万円減少しました。

**投資活動によるキャッシュ・フロー**  
**△139百万円**  
投資有価証券の売却による収入がありましたが、固定資産の取得による支出などにより139百万円減少しました。

**財務活動によるキャッシュ・フロー**  
**△511百万円**  
借入金の減少及び配当金の支払により511百万円減少しました。

## ■ 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

当期 2006年4月 1日から 2007年3月31日まで	株主資本					評価・換算差額等 其他 有価証券 評価差額金	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計			
2006年3月31日残高	1,591	1,878	3,379	△68	6,781	290	114	7,185
連結会計年度中の変動額								
新株の発行	10	10	-	-	20			20
剰余金の配当			△165	-	△165			△165
当期純利益			510	-	510			510
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額						△264	14	△249
連結会計年度中の変動額合計	10	10	344	-	364	△264	14	114
2007年3月31日残高	1,601	1,888	3,724	△68	7,145	26	128	7,300



# 株式の状況

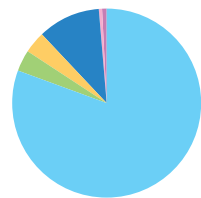
## ■ 株式状況 (2007年3月31日現在)

発行可能株式総数	890,000株
発行済株式総数	225,020株
株主数	4,224名 (前期末比368名減)

## ■ 大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
野島 隆久	105,216	47.13
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,813	4.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,223	2.33
野島 絹代	4,845	2.17
株式会社みずほ銀行	2,880	1.29
みずほキャピタル株式会社	2,640	1.18
野島 佳子	2,400	1.07
PCM従業員持株会	2,389	1.07
ノーザントラストカンパニーエイブイエフイーリフィティアンズ	2,100	0.94
エスアイエスセガインターセトルエージー	1,983	0.88

## ■ 所有者別状況



所有者別の株式数 合計/225,020株 (100.00%)

- 個人その他/181,353 (80.59%)
- 外国法人等/8,190 (3.64%)
- その他法人/8,419 (3.74%)
- 金融機関/24,050 (10.69%)
- 証券会社/1,260 (0.56%)
- 自社名義株式/1,748 (0.78%)

## ■ 株主優待券

毎年3月31日現在、4株以上ご所有の株主様に対して、当社にて使用できる株主優待券を年1回、以下の基準により贈呈させていただきます。本株主優待券は、当社運営全店舗、フランチャイズ店舗及び当社運営のインターネットショッピングサイトにてご利用いただけます。

所有株式数	優待内容
4株以上	1,000円相当の株主優待券
10株以上	2,000円相当の株主優待券
50株以上	10,000円相当の株主優待券
100株以上	20,000円相当の株主優待券
400株以上	50,000円相当の株主優待券
1,000株以上	70,000円相当の株主優待券

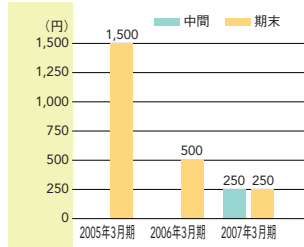


※株主優待券による還元はできません。  
 ※掲載の内容は、2007年3月31日現在となります。  
 ※株主優待券によるインターネットショッピングをご利用の場合は、下記の電話番号に一度ご連絡をください。株主優待券によるご購入方法のご説明をさせていただきます。

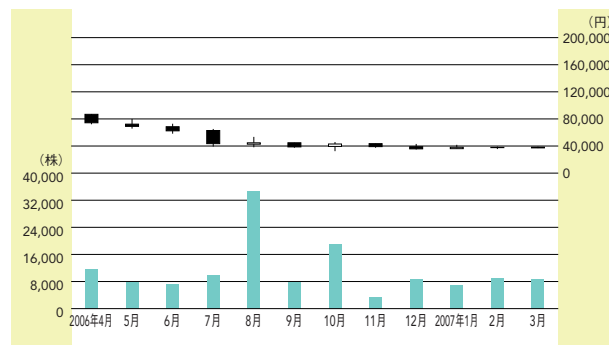
TEL 045-430-4615 ご案内時間/11時~20時

## ■ 配当実績

配当政策は、当社において経営の重要課題の一つと認識しており、安定的な配当の維持継続を念頭においております。2007年3月期は1株当たり年間配当金500円を配当させていただきます。



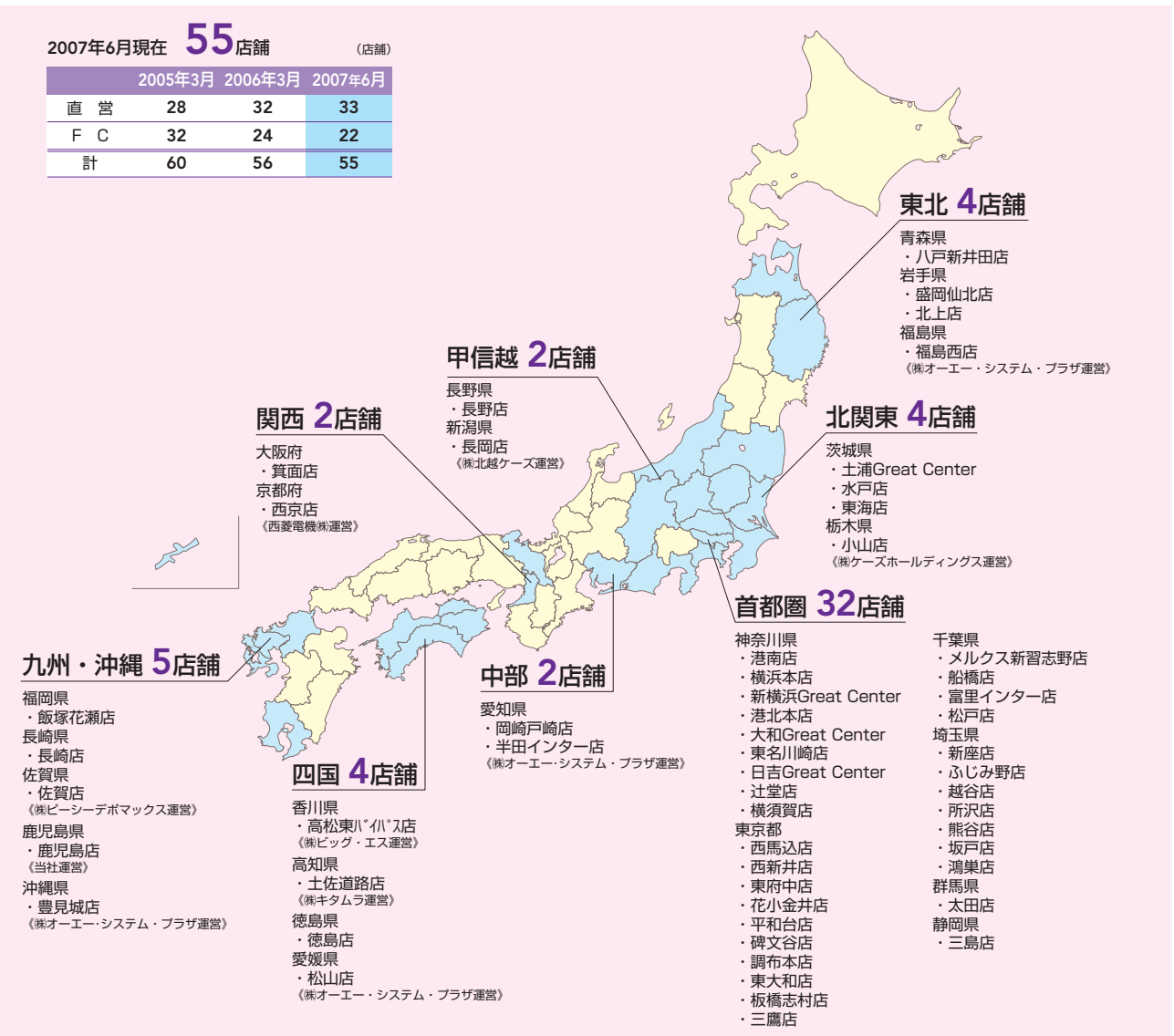
## ■ 株価・出来高推移



# 店舗一覧

2007年6月現在 **55** 店舗 (店舗)

	2005年3月	2006年3月	2007年6月
直営	28	32	33
F C	32	24	22
計	60	56	55







## 会社概要

### ■ 会社概要 (2007年3月31日現在)

商号	株式会社ピーシーデポコーポレーション
事業内容	PCDEPOT (PCデポ) の本部及び店舗の運営 パーソナルコンピュータ、同関連商品、及びデジタル家電の販売
本社所在地	〒222-0033 横浜市港北区新横浜二丁目3番19号 TEL 045-472-7795 (代表)
会社設立	1994年8月
株式上場日	1999年10月
資本金	16億119万円
社員数	335人
連結対象子会社	株式会社イージェーワークス 株式会社ビー・ビー・マーケティング

### ■ 役員一覧 (2007年6月21日現在)

代表取締役社長	野島隆久
常務取締役	酒井茂彦
取締役	濱松謙至
取締役	西山充史
取締役	羽江三世士
常勤監査役	小野田雅夫
監査役	久保田弘之
監査役	山本邦彦
監査役	明石榮三



### ホームページをご利用ください!!

ホームページでは、店舗情報、会社案内、IR情報も豊富なインフォメーションを掲載しております。  
IRページをわかりやすくいたしました。  
情報をタイムリーに発信していきますので是非、ご利用ください。

<http://www.pcdepot.co.jp>



## 株主メモ

### 決算期

3月31日

### 定時株主総会

毎年6月

### 剰余金の配当等支払株主確定日

3月31日

また、同日以外は取締役会決議により基準日を決定いたします。

### 公告の方法

電子公告により行います (ホームページ: <http://www.pcdepot.co.jp>)。  
なお、事故やその他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。

### 株主名簿管理人

〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

### 同事務取扱場所

〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

### 同事務連絡先

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

### 同取次所

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

### IRカレンダー

2007年度

5月15日	本決算発表
6月21日	定時株主総会
8月中旬	第1四半期決算発表
11月中旬	中間決算発表
2月中旬	第3四半期決算発表